

【学術研究、専門  
技術サービス業】

免疫細胞療法

■企業プロフィール

〒791-0204  
愛媛県東温市志津川454  
設立／令和2年6月  
資本金／1億6,109万円  
事業内容／医薬品開発  
<https://optieumbio.com/>  
shun.nishioka@optieumbio.com

■社長プロフィール

西岡 駿  
1986年東京都世田谷区生まれ。  
一橋大学卒。大手証券会社の投資銀行部門でヘルスケアセクターのM&A及び資金調達業務等に従事した後、2020年にオプティウム・バイオテクノロジーズ(株)を設立。趣味はサッカー。

# オプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社

## アカデミアや製薬企業と連携し、 共同研究開発や独自の医薬品開発を推進

少しでも多くの患者に、最適な治療薬を届けたい

## 西岡 駿

代表取締役

Shun Nishioka



スローガン  
愛媛発、世界へ  
オリジナル製品サービス  
免疫治療効果の高い抗体を効率よく作製することができる新規技術  
「Eumbody System™」



### 愛媛大学大学院の越智俊元講師と 想いを同じくし、共同で創業

高いがん治療効果を持つ「CAR-T細胞（治療方法の一種）」の機能最適化を基盤とする「Eumbody System™」をコア技術とし、製薬企業を顧客としたプラットフォーム型共同研究開発を行うオプティウム・バイオテクノロジーズ株式会社。共同創業者でCEOの西岡氏は、野村證券の投資銀行部門でヘルスケアセクターのM&A及び資金調達業務等に従事し、数多くのバイオベンチャー支援を手がけた。その後、日本の優れた技術とバイオベンチャーへの想い



を高める中、2019年に愛媛大学大学院医学系研究科の越智俊元講師と出会う。そして、同氏が開発した「Eumbody System™」はがん免疫療法のボトルネックを解消するブレイクスルーテクノロジーであると考え、その社会実装のための共同パートナーとして立候補し、2020年6月に越智医師と共同で創業した。

### 様々な難治性疾患に対する 抗体医薬品開発に努める

「Eumbody System™」は、遺伝子改変技術を応用し、**免疫治療効果の高い抗体を効**

率よく作製することができるとして、この技術をキメラ抗原受容体T細胞（CAR-T細胞）に応用したところ、新たに作製されたCAR-T細胞が、**従来型CAR-T細胞と比較して高いがん治療効果を誘導することが明らかとなった。**同社は2020年7月9日に愛媛大学から「Eumbody System™」の独占的ライセンスを取得し、同技術を活用して、アカデミアや製薬企業との連携を通して共同研究開発及び独自の医薬品開発を推進。**がんをはじめとした様々な難治性疾患に対する抗体医薬品開発に努めている。**

### 製薬会社と共同研究契約を締結 将来的には自社創薬も見据える

同社の想定顧客は国内外の製薬企業やバイオテクノロジー企業である。国内外の製薬会社とは既にディスカッションを開始しており、2021年3月に第一三共株式会社との間で、特定のがんターゲット（非公開）に対して、CAR-T細胞に特化した新規機能的一本鎖抗体の創出に関するオプション権付共同研究契約を締結。同社は引き続き、当該技術の利用を希望する製薬会社との共同研究や、自社開発を積極的に進め、**少しでも多くの患者に最適な治療薬を届けられるよう事業を推進していく方針だ。**